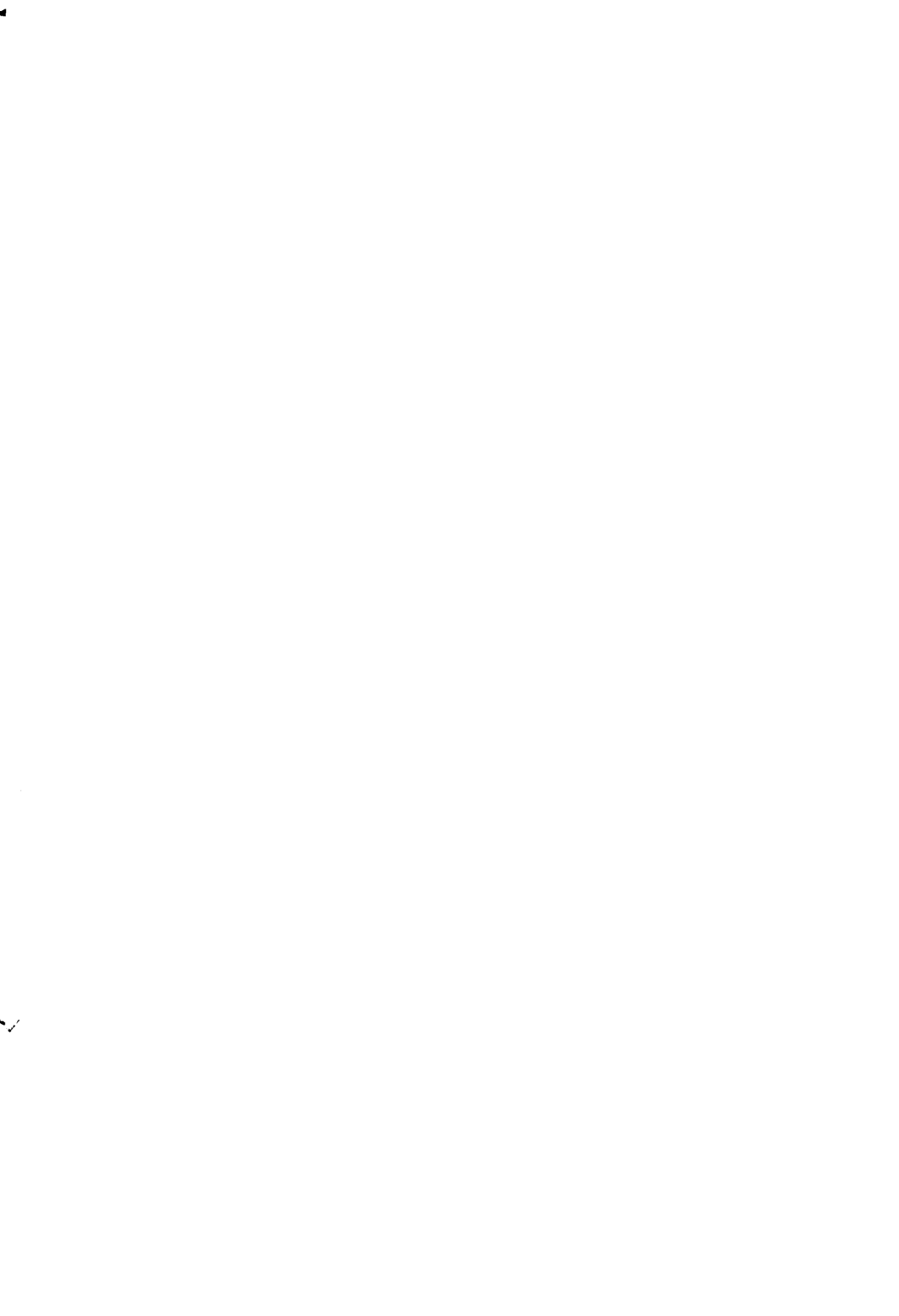


〔資料紹介〕 1

開基日隆大聖人縁起

嘉伝院日諄著



第四百七十二号

蔵	八	両
	品	
書	講	備

内題

開基日隆大聖人縁起

——御開山御一代写——

田中春治

1丁ヲ

夫当寺能開山日隆大聖人濃姓盤

人皇五十六代清和天玉十二代之

孫義胤タ子ハ桃井氏能元祖也同姓

九代の後見右馬頭尚儀ハ越中の

国射水郡浅井イミツの城主爾氏ニ斯波ツバ

義将ツヤム農女越免登り氏二子ヤク

開基日隆大聖人縁起

夫れ当寺の開山日隆大聖人の姓は

人皇五十六代清和天王十二代の

孫義胤は桃井氏の元祖なり、同姓

九代の後見右馬頭尚儀は越中の

国射水郡浅井の城主にて斯波

義将のむすめをめとりて二子ヤク

開基日隆大聖人縁起

1丁ウ

生利兄越直之といふ弟を長一丸
といふ隆師是なり其母灵夢

越かうむり天者らめ流事あり

至徳元年甲子十月十四日ニ誕生給。此日毛

生めり。兄を直之といふ。弟を長一丸
といふ隆師これなり。其の母靈夢
をかうむりてはらめる事あり。

至徳元年甲子十月十四日に誕生し給ふ。此の日も

2丁ヲ

登免ぎ流爾吉人の女性来氏乳を
あ多へ養育春る事十年同くま多

貴人の老翁来一尺余りの劔越尚儀公江
阿とふ是のゆへ爾幼君の御名越長一丸
と付給御歳十歳の時両親に向天

とめざるに一人の女性来りて乳を
あたへ養育すること十年、同じくまた
貴人の老翁来り一尺余りの劔を尚儀公へ

あとふ。是の故に幼君の御名を長一丸
と付け給ふ。御歳十歳の時両親に向つて

2丁ウ

出家せん事を古以たまふ爾父是を
ゆるしたま王す時爾乳母のゐへらく
家に嫡子ゐます上盤ゆるし給へ
王連爾所持の御経有幼君爾た氏
ま川らんといふ氏高声に我等亦当

出家せん事をこいたまふに父是を
ゆるしたまわず。時に乳母のゐへらく、
家に嫡子ゐます上はゆるし給へ
われに所持の御経有り。幼君にたて
まつらんといふて高声に我等亦当

身自擁護受持読誦修行是経者

身自擁護受持読誦修行是経者

3丁ヲ

令得安穩離諸衰患消衆毒藥と唱へ
氏終爾その行方越知ら須是鬼子母神
の遍んげなる事経文明白なり乳母
所献シムケンの御経ハ師一生隨身能後尼ヶ崎

令得安穩離諸衰患消衆毒藥と唱へ
てついにその行方を知らず。是れ鬼子母神
のへんげ(変化)なる事経文明白なり。乳母
所献の御経は師一生隨身の後尼ヶ崎

3丁ウ

本興寺に有り時爾明德四年五月
沙門の形となり氏同國遠成寺慶
寿院越師登し氏三宝に奉事
給御名越深志んあん門と云ふ御歳十八才
の時京都爾登り給天妙本寺今の妙願寺是なり

本興寺に有り。時に明德四年五月
沙門の形となりて同國遠成寺慶
寿院を師として三宝に奉事し
給ふ。御名を深しんえん門と云ふ。御歳十八才
の時京都に登り給ひて妙本寺今の妙願寺是なり

4丁ヲ

日霧上人セイ乎師とし帝台家ダイ當家の
か具毛ミん越津登免ミナモとその源越ミナモときわ免
給此時御名越ミハ慶林坊と云ふ廿二才の
御時日霧公せん希給楚の御弟子
月明くまつめうく王ん志由となり給此時本迹勝劣本んしやく志やう連つ

日霧上人を師として台家當家の
か(字問)くもんをつとめ、その源みなもとをきわめ
給ふ。此時御名をば慶林坊と云ふ。廿二才の
御時日霧公せん(羅化)げし給ふ。その御弟子
月明くまつめう貫首となり給ふ。此の時本迹勝劣

耳ミまよふい氏古んとう一致いっちの説せつを
開基日隆大聖人縁起

にまよふ(迷)て混同一致の説を

開基日隆大聖人縁起

4丁ウ

お古し氏より蓮師の門流王わかれて
本迹一異イのろん屋やむこと奈し故爾
とし古ろ月明をあさ免給といへと毛
執情志うまやう婦可具し氏阿あきらむる□かつ氏
なし古のゆへに妙本寺越こいで、妙蓮寺

起してより蓮師の門流別わかれて
本迹一異論のろんやむことなし。故に
とし年ころ月明を陳あさめ給ふといへども、
執情深ふかくしてあきらむる□かつて
なし。この故に妙本寺をいでて妙蓮寺

5丁ヲ

大成坊に住給。志かる時爾月明師ヲ
可ろむる事日越可かさ禰具なわだ氏し師を
がいせんと者可る故爾師ハ命をまつとふし氏
飛ひろ広弘通せん事を思召氏河内國
三井村耳お毛むき本本嚴寺建立給
古連本門八品のレイシヤウ霊場の寂初奈り

大成坊に住み給ふ。しかる時に月明、師を
かろむる事日計を重ね、くわだてて師を
がいせんと全はかる。故に師は命をまつとふして
ひろ広弘通せん事を思召して河内國
三井村におもむ赴き本嚴寺を建立し給ふ。
これ本門八品の霊場の最初なり。

5丁ウ

卅七歳能御時攝カ劔尼ヶ崎爾氏
御弘通被成領主細川右京大夫
其婦さい懐た以の御事有り師の此時
遍遍ん成成奈ん子能御祈念たんせ以越
者希美給爾男子を生給御願満足

卅七歳の御時攝州尼ヶ崎にて
御弘通なされ領主細川右京大夫
其の婦妻さい懐胎たいの御事あり。師の此の時
へん産成男な男ん子の御祈念丹談せいを
はげみ給ふに、男子を生み給ふ。御願満足

のゆへ爾八幡宮の境内越師爾たまふ

則本門戒壇の靈地とし氏本興寺
を建立給。是の八幡の社爾おる氏
師の御身に阿多り不思議の事に
縁起ユキの如し師の御在所とさ多免
給霊場なり四十三歳之御時家臣
本成といふ者越中者以具ん後爾

義兵ぎへい越お古さんと思ふこと阿り氏
師の下国をかう師ゆるしたま王須
自木像をきさみもとより氏本成に

たまふ其已後御下向あり氏
父の旧跡越あらた免本成寺乎
立給 楚毛毛と希く本成元助と毛と希氏

父の家臣有り尚儀の死後爾至氏
元助本んきやく越具王氏多所領乎

のゆへに八幡宮の境内を師(賜)にたまふ。

則ち本門戒壇の靈地として本興寺
を建立し給ふ。是の八幡の社におゐて
師の御身に(立)あたり不思議(講)の事、具に
縁起の如し。師の御在所とさだめ(定)
給う霊場なり。四十三歳の御時家臣
本成といふ者越中(敗軍)はいくん後に

義兵をおこさんと思ふことありて
師の下国をかう(請ふ)。師ゆるしたまわず。
自ら木像をきさみて本成に

たまふ。其れ已後御下向ありて
父の旧跡をあらため本成寺を
立て給ふ。そもそも本成元助とて

父の家臣有り。尚儀の死後に至つて
元助ほんぎ(叛逆)やく(企)をくわだて所領を

開基日隆大聖人縁起

おふりやうせんと者かる故爾本成
ふ多_レ飛法君乎古郷江ま禰き桃井
の苗裔_{ゆゑ}越立てんと忠せ川古こん
かん春る爾たへ多りよつ氏本成師の

7丁ウ

在所尼ヶ崎江御迎ニ登婦多たひ
義兵越阿希給ふよしかんたん越
具た以氏願ふといへとも師きよ
多く給王す志かりといへとも忠心
阿さからず古連爾よつ氏俗躰よふ
ち乃木像をきさ美下さ流

8丁ヲ

本成是の御影像_{まがい}越大將とし氏
一戦爾利を得終爾逆心元助を本路
保しほん毛ふをと希しと奈里
其後師御下向阿り氏本成可
宅に逗留給今の善_不衛_明古連なり
このゆへ爾今爾至迄自他共ニ御宿と

おふり_(横領)やうせんとはかる故に本成
ふたたび_(再)法君を故郷_(郷)えまねき桃井
の苗裔_(苗)を立てんと忠せつ古こん
かんずる_(感)にたへたり。よつて本成、師の

在所尼ヶ崎_(一)え御迎えに登り、ふたたび
義兵_(義)をあげ給ふよしかんたん_(由)を
くだいて願ふといへども、師_(許)、きよ
だくし_(諾)給わず。しかりといへども忠心
あさ_(浅)からず。これによつて俗体_(効)よふ
稚の木像_(刻)をきさみ下さる。

本成是の御影像を大將として
一戦に利を得、終に逆心元助_(七)をほろ
ぼし_(本望)、ほんもふ_(老)をとげしとなり。
其の後師、御下向ありて本成が
宅に逗留_(不)し給ふ。今の善_明衛_不これなり。
このゆへ_(故)に今に至る迄自他共ニ御宿と

8丁ウ

いふ師ハ父の旧跡爾本門の霊場を

立給本成寺是奈り後ち本光寺爾
あら多まる

本成盤出家し氏彼の御木像を

堂内耳安置し奉鬼子母神

八幡宮の守護越阿をいで住寺せり

今の島村番神堂是奈里然處ニ

いふ。師は父の旧跡に本門の霊場を

立て給ふ。本成寺是れなり。後ち本光寺に
あらたまる

本成は出家して彼の御木像を

堂内に安(置)ちし奉る。鬼子母神

八幡宮の守護をあ(仰)をいで住寺せり。

今の島村番神堂是れなり。然る処に

9丁ヲ

中頃な可ころの王連奈具御木像を京本能寺へ

とりた氏まつる今本能寺の
御像是也此い王連を以氏

是の寺盤諸末寺耳おなじ可ら須

云云當寺ハ毛と師の遺骨ゆいこつ諸具を

留給とくめ桃井氏の代祖菩提の為爾

立給御本願と聞師の御書二通写有之

中頃(謂)のわれなく御木像を京本能寺へ

とりたてまつる(謂)今本能寺の
御像是也此のいわれを以て

是の寺は諸末寺におなじからず

云云。當寺はもと師の遺骨ゆいこつ諸具を

留め給ふ。桃井氏の代祖菩提の為に

立て給ふ御本願と聞く。師の御書二通写しこれあり。

9丁ウ

不思議奈るか奈越後堅信并景信

兵乱の砌其か多ちたへ須今爾至氏若んあい八繁栄

の霊場と成る古連則番神擁護の

き登く尊師志よ志やう所生のと古路ころあ阿に八品

不思議なるかな越後謙信并に景信

兵乱の砌其かたちたへ(絶)ず今に至つては繁栄

の霊場となる。これ則ち番神擁護の

き登く尊師(奇特)所生(所)の(堂)と古路阿に八品

開基日隆大聖人縁起

開基日隆大聖人縁起

所願廣宣流布爾あらずや時爾

賀越の國守前田利家公富山御在城

所願廣宣流布にあらずや。時に

賀越の國守前田利家公富山御在城

10丁ヲ

の時寺者富山に移るのちま多高岡

御在城ニ付高岡爾う川る志か利といへ共

誕生庵盤淺井江の古る毛のなり師

御飯路の時へ越前敦賀色之濱

爾着船有り時爾村民疫病流行

濃おりふし師の御祈禱き春い

の時、寺は富山に移る。のちまた高岡

御在城に付き高岡に移る。しかりといへ共

誕生庵は淺井えのこるものなり。師

御帰路の時は、越前敦賀色之浜

に着船あり。時に村民疫病流行

のおりふし、師の御祈禱きすい

10…ウ

を阿ら王し給此ゆへ爾諸人本門の

行者と奈里氏本隆寺を建立春今

此里ニ加きり疫病難産火難是なし

といゑりそ連より敦賀の津□渡り

氣比明神の社僧圓海法印三日三夜

の法論有之圓海法印屈伏し氏

弟子となり大勝寺を者本勝寺と

をあらわし給ふ。此のゆへに諸人本門の

行者となりて本隆寺を建立す。今

此の里にかぎり疫病難産火難是れなし

といゑり。それより敦賀の津に渡り

氣比明神の社僧円海法印三日三夜

の法論之れ有り。円海法印屈伏して

弟子となり大勝寺をば本勝寺と

11丁ヲ

改め圓海へ正法院日從と阿らた免テ
本門の靈場となる楚連より京都爾
登り小袖屋宗句そうくといふ者越か多ら以
洛陽爾本應寺を建立給後本能寺
と阿ら多無五十六歳の御時河務石川

改め、円海は正法院日從とあらためて(改)
本門の靈場となる。それより京都に
登り小袖屋宗句という者をかたらい
洛陽に本應寺を建立し給ふ。後本能寺
とあらたむ(改)。五十六歳の御時、河州石川

11丁ウ

郡加納村におもむき斯波義盛公
越た須禰毛登免氏教化受戒有りて
法華寺を古ん立給五十五歳の御時ハ
淡州ニ渡り帝御弘通まし多ん志うく
釜口村妙勝寺僧俗ともニ飯ぶくす
六十八歳御時泉務堺頭本寺を立

郡加納村におもむき(赴)、斯波義盛公
をたずねもとめて教化受戒ありて(訪)
法華寺を(建)こん立し給ふ。五十五歳の御時は
淡州に渡りて御弘通ましまし(伏)
釜口村妙勝寺僧俗ともに帰ぶくす
六十八歳の御時、泉州堺頭本寺を立

12丁ヲ

給御弟子日淨聖人在住給惣し氏
西國の御弘通諸國阿ま年し
七十歳の御時本興寺境内の榎木
を毛つ氏界の佛工淨傳といふ者に
御影像越造らしめ本興寺

て給ふ。御弟子日淨聖人在住し給ふ。総じて
西國の御弘通諸國あまねし。
七十歳の御時本興寺境内の榎木
をもつて(以て)界の佛工淨傳という者に
御影像を造らしめ(むか)本興寺

開基日隆大聖人緣起

開基日隆大聖人縁起

文庫堂の御影是なり八十一歳の

12丁ウ

時正月都鄙能門弟越集め師濃

免川後爾至り氏本門八品の首題

弘通乎癡春る事奈可連と

可し寛正五歳甲申二月廿五日

御入滅を唱へ給師御一代

りやくし氏かくのごとし云云

文庫堂の御影是れなり。八十一歳の

時正月、都郭の門弟を集め師の

めつ後に至りて本門八品の首題

弘通を廃する事なかれと

かし。寛正五歳甲申二月廿五日

御入滅を唱へ給ふ。師の御一代

りやくしてかくのごとし云云。

13丁ヲ

か多し希な具毛開基大聖人ハ

積尊上行の御本意越阿ら王し

本門八品のおふし越ぎ王免本因

下種乃首題飛路免帝免以保ん

具あくの王連ら衆生をたす希

給慈悲廣太の御恩報し氏

かたじけなくも開基大聖人は

積尊上行の御本意をあらわし

本門八品のおふしをきわめ本因

下種の首題ひろめてめいぼん

くあくのわれら衆生をたすけ

給ふ。慈悲広大の御恩報じて

13丁ウ

も阿まりあ里安爾今年三百年

忌御報恩の為寺且古楚つ氏

もあまりあり。爰に今年三百年

忌御報恩の為、寺檀こぞって

14丁ヲ

門流廣宣流布をあ越い氏淺井
嶋村開山堂御遺骨尊前爾おる氏
常題目乎古ん立し氏自他の
結縁となし一天四海八品門流

の廣布越祈る毛の也縁起古ま〜
にあり^(とカ)氏いへとも諸國乃參詣俗男
俗女へ見るとま阿ら須今幸ひ爾
略し氏古連を見せし
無のみ

門流広宣流布をあをいで淺井
嶋村開山堂御遺骨尊前におゐて
常題目を^(建)こん立して自他の
結縁となし、一天四海八品門流

の広布を祈るものなり。縁起こまこま
にありといへども^(雖)諸國の參詣俗男
俗女は見るとまあらず。今幸ひに
略してこれを見せし
むのみ。

14丁ウ

宝曆十二壬午歳二月
本光寺十四祖

嘉伝院圓兼日諄花押

島村誕生庵常住物

宝曆十二壬午歳二月
本光寺十四祖

嘉伝院円承日諄花押

島村誕生庵常住物

15丁ヲ

天保十一子歳三月写之

田中春治

宗光花押

天保十一子歳三月之を写す

田中春治

宗光花押

開基日隆大聖人縁起